

腰に優しい移動・移乗介助

その5 やってみよう座位移乗（3）

～トランスファーボードの差し込み方～

千葉県リハビリテーション支援センター
（千葉県千葉リハビリテーションセンター）

はじめに

ここでは、自分自身でトランスファーボードを差し込む方法を習得します。この身体の動かし方が、すなわち介助をするときの相手の身体の動かし方になります。トランスファーボードを利用する場合、この“差し込み”が大きな鍵です。まずは、介助者自身で上手い位置に差し込めるようになりましょう。

1. 準備です

トランスファーボードの大きさや材質によって、差し込み方等が異なることがあります。ここでは、マスターグライド（ラックヘルスケア株式会社）のレギュラーサイズを利用して基本的な方法を説明します。

イージーグライド（パラマウントベッド株式会社）やモーリフトボード（パシフィックサプライ株式会社）等は同様の方法で利用も可能です。また、移座えもんボード（株式会社モリトー）は、位置を確認しやすい切れ込みが入っています。



マスターグライド
（ラックヘルスケア株式会社）



イージーグライド
（パラマウントベッド株式会社）



モーリフトボード
（パシフィックサプライ株式会社）



移座えもんボード
（株式会社モリトー）

その他、各社様々な種類がありますので、取り扱い店などに確認をして利用してください。

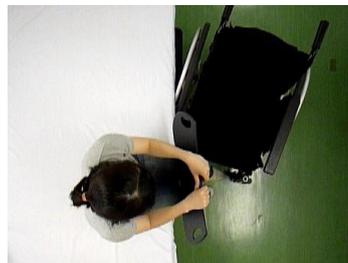
(1) 差し込み方

ここでは、ベッド上での差し込み方を示します。

①ベッドの端に座ります。このとき、少しお尻を前に出して座るのが良いでしょう。

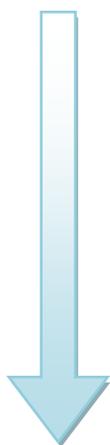


上から見た図

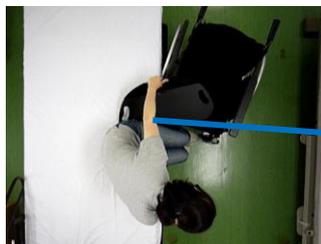


前から見た図

②身体を側方から前方に向けて傾け（赤矢印）、ボードの端をお尻から太腿の後ろにかかるように差し込みます。このときのボードを持つ場所に留意してください。



持つ位置



この程度まで差し込みます

③完成！



いかがでしたか？ トランスファーボードは差し込み方次第で、使い勝手が全く変わります。どの程度傾けると上手く差し込めるのかなど、自分の身体で体験してみましょう。

※本リーフレットに関するお問い合わせ先

千葉県千葉リハビリテーションセンター地域連携部地域支援室

〒266-0005千葉市緑区菅田町1丁目45番2 電話(代)043-291-1831Fax:043-291-1847